

奈良市

ならしみんだより 令和3年10月号 「水害への備え」

令和3年(2021)10月1日

「絶対に安全」を過信しない

水害への備え

昭和28年(1953)9月25日。「災害に強い奈良市」の安全神話を覆す大水害が起きました。猛威を振るう「台風第13号」が襲いかかり、「何があっても大丈夫」と言われていた佐保川が氾濫。佐保・椿井地区等で約2500戸が床上浸水し、三条通りは濁流で川のようになったという記録が残っています。

台風やゲリラ豪雨による水害が、今後奈良市で起こる恐れは十分にあります。過去の水害振り返りつつ、自分の暮らす地域にどのような危険があるか、まずは知ることから始めてみませんか。



法蓮橋の流失物



天平橋付近の様子



刻々の増水に警戒する被災地の人達 法蓮方面



1200年来の手向山八幡宮校倉の破壊箇所と倒木下樹木

昭和二十八年台風第十三号 写真：奈良市



在りし日の道路も、今は完全なる河川と化す。
多門町